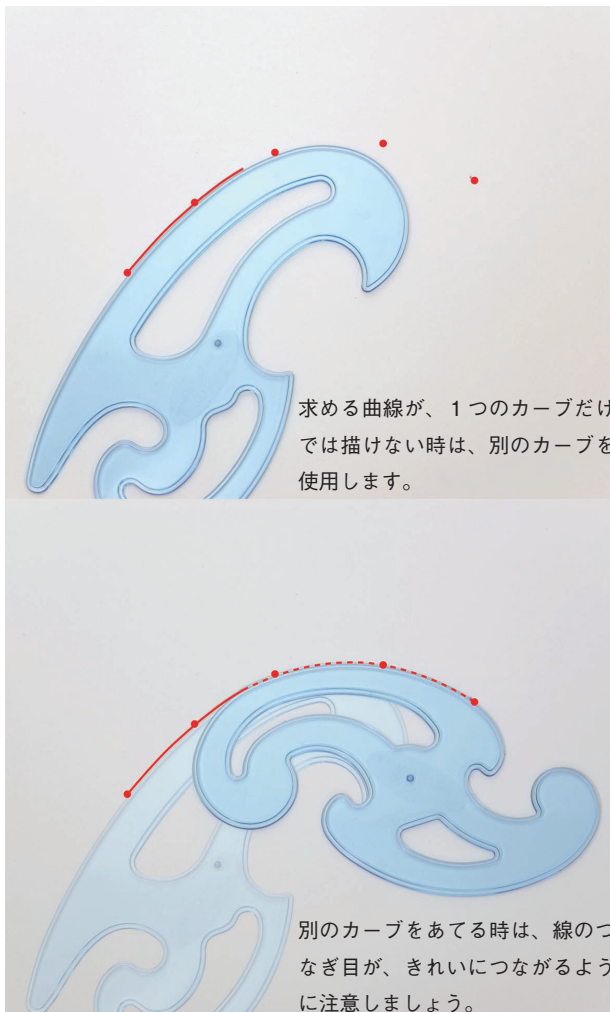
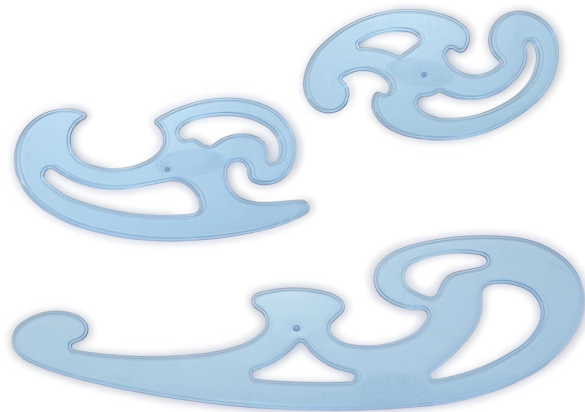




# 雲形定規

くもがたじょうぎ



求める曲線が、1つのカーブだけでは描けない時は、別のカーブを使用します。

別のカーブをあてる時は、線のつなぎ目が、きれいにつながるように注意しましょう。

## 概要

雲形定規は、様々な曲線を引く際に使用する製図用具です。名前の通り雲のような形をしています。雲形定規を使用すると、コンパスでは難しい様々な曲線を引くことができます。雲形定規は、通常は数枚がセットになって販売されており、そのためいろいろな曲線に対応できるようになっています。この中から、引きたい曲線に合うカーブを探して使用します。材質は、アクリルや透明プラスチック、木製のものがあります。なお、「万能雲形定規」と呼ばれる定規は、1枚のうちにより多くの曲線を備えており、雲形定規数枚分の働きを兼ねているので、少ない枚数で作業ができます。万能雲形定規は、12cm～21cm程度の大きさのものがよく見られます。

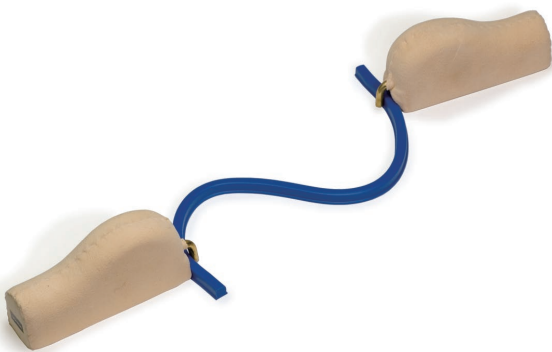
雲形定規を使用する際は、あらかじめ、求める曲線のあたりをつけておき、その曲線に沿うように定規のカーブをあて、線を引きます。雲形定規はたくさんの曲線でできていますが、1つのカーブだけで全ての曲線に対応できるわけではありません。その場合は、1本の曲線をいくつかの部分に分けて、部分ごとに定規から合うカーブを探し、あてます。線をつなぐ時は、継ぎ目が滑らかにつながるように注意しましょう。

曲線を引くための定規には、雲形定規の他にも、任意の曲線を引くことができる「自在曲線定規」があります。これは塩化ビニール製のチューブの中に金属の芯を入れたもので、自分で任意のカーブに曲げて使用します。ただし、小さな曲線には使いづらい場合があります。自在曲線定規は、目盛りの有無や、長さ（30cmから80cm程度）によっていくつかの製品があります。この他の、曲線を引くことのできる定規としては、5枚1組で、楕円やスパイラルなどの幾何学的な曲線を引くのに向いている「ユニカーブ」があり、特殊なものとしては、鉄道路線の製図に使用される「アール定規（鉄道カーブ定規）」があります。アール定規は、微妙な曲線の違いによって100枚がセットになったものもあります。雲形定規やユニカーブなど、曲線を描く定規類は、画材店や製図用具を扱うお店で購入できます。

曲線を引くための様々な定規



ユニカーブ



自在曲線定規と、固定するための文鎮